

長谷川社長、事業に専念されたら!!②

あまりにも人気がない、人望がない

(株)はせがわ

6月29日、筆者は(株)はせがわの第34期定時株主総会に参加した。弱小の株主ではあるが「誇れる会社になっていただきたい」という思いは、そのあたりの株主とは比較にならないほど強い。なぜ、こういう厳しいことから冒頭に触れるかというと「はせがわの株主は馬鹿ばかり」だからだ。このシリーズ①で触れたように、34期には当期損失9億2,377万9,000円を計上した。最悪の決算にもかかわらず筆者以外、株主の誰も事前に会社に質問状を出していないのだ。これでは馬鹿としか言いようがない。

先に提出した質問状の骨子は、①中国、アジアへの投資損失は今期で終わりなのか? ②この赤字の責任を取って長谷川裕一社長には「社長を辞任しろ」とまでは言わないが、公的活動を一切止めて事業に専念しろ」の2点だった。これに対して株主総会では社長の実弟である専務取締役海外事業本部長の長谷川房生氏が「今期で損失は掃き出しました。もう有り得ない」との明確な回答を行った。肝心の長谷川社長は「事業経営に支障ない範囲で公的活動を行います」と明言した。

本人達は「これで問題が解決した」と思っていないだろうが、筆者は株主として「『はせがわ』が誇れるべき会社に変貌していただくため」に10回シリーズで「はせがわ」研究を連載していく。長谷川社長!! 言い分、反論があったら慌てずにシリーズが終わって行動して下さいね!! 慌てたら得はしません。

▶唯我独尊の性格

長谷川裕一社長への経済界、行政、政治の関係者の評価を聞き取りした。結論は「よー、ホンマ、こんなに人気も人望もない人も珍しい」である。この最後のシリーズで取材した50口の意見を一挙掲載するが、まず代表意見の8口を紹介してみよう。

①JC時代の仲間

個人的には何の恨みもないし、別に尊敬しているわけでもないが、対等に付き合いをしている。ただ彼の欠陥は「途中で投げ出す」ことである。自分の会社なら何をするのも勝手に構わない。しかし、人を巻き込んで公的活動をするときには言い出しっぺは最後まで仕事を貫徹すべきである。彼には途中からその仕事を投げ出す習性があり、周囲の仲間たちから不評を買っている。本人が気付いていないから悲劇だ。

②長谷川氏と影響力を二分する経営者

「我々の世代が時代を変えなくては」との思いで長谷川氏には一目おいて付き合いきたつもりだ。だから彼の呼び掛ける活動に精一杯尽くしてきた。ところが、共同行動を積み重ねるうちに彼のいい加減さが鼻につきた。こちらは正直に申し出どうりに準備をしていたところ「あの話はなかったことにしてくれ」と突然、撤回通告してくる。このように梯子を外されることが度々あった。ビジネスの話ならいざ知らず、お互いに公的活動をしている話だ。さらに彼には「迷惑をかけた」という悪びれた様子がないから頭にくる。最近では割り切ってこちらから近付かないようにしている。

③流通会社社長

私が以前、会社社長をしていたときは、よく厚かましく頼みごとに来ていた。しかし、都合で会社を辞めてからは掌を返したように来なくなった。「仏の心どうのこうの」と偉そうなことを言っているが、「この男は利用価値がない」と見切ったら近寄りもしない徹底した実利主義の男だ。だから宗教の心などを説く資格はないと思う。人間は一生、浮き沈みの人生だ。だから私は「これと思った」人とはトコトン付き合う。彼とは人生観が違うから今後、接す

ることはないだろう。

④元政治家秘書

まー、あんなに風見鶏の男も見たことがない。私が秘書をしていた陣営が勢いのあったとき、東京のお偉いさんの紹介で事務所にやって来ておべんちゃらを使う。口は人の10倍叩くのだが、金は一銭も出さない。銭ゲバという印象が残っている。選挙活動が佳境になって判明したことだが、あっちこちのライバル陣営にも覗き歩きしていた。保険をかけることはどの経営者でもすることだが、長谷川氏の場合は極端だった。中盤戦で旗色が悪くなったら事務所に全然、寄り付かなくなった。本人はけろっとして生きているのだろうが、こちらとしては絶対に許せない。

⑤中小企業経営者(1)

長谷川さんとは長い付き合いだ。今でも適当に交流している。なぜならば、彼との交流において思い入れていると疲れてしまうからだ。彼の説く大義の旗を吟味してみると面白い。「アジアのために貢献する」が口癖だ。たしかにビジネスのためなら計算して金を出したが、「大義のためには一体、どれだけ金を援助したのか」を問いたい。「アジア、アジア」と騒ぐが「地元、地域、故郷」ということには一切、触れず金も出さない面白い思考の持ち主である。

▶真剣に相談にのって馬鹿を見る

⑥20年来の相談相手の友人

「上場した後になぜ、アジアに投資したのだろうか?」と質問してみた。「あのときにはキャピタルゲインを30億円握った。気分も楽勝になっていて鷹揚な一面があった。あの頃は珍しく他人の頼みを聞

くこともあった」と語ってくれた。さらに続く。その頃から本業の仏壇販売の将来性には悲観的な見解を抱いていた。次の収益事業を早急に確立しようという焦りがあったのは事実。『生長の家』の先輩であるヤオハンの和田氏がアジアで活躍しているのに刺激を受けたかどうかは定かではないが、多少はあっただろう。そして中国の要人たちと触れ合ううちに事業欲が湧き出たのだと思う。結果として、中国、アジア投資は失敗に終わってしまった。

⑦同じく相談相手の一人

中国の事業の相談を受けたときには再三にわたり反対した。人材がいない、国内のように資金管理はたやすくはない、労務管理が難しい、などの点を列挙して親身になってアドバイスしたつもりなのだが…ところが別の美味しい話を持ってきた人物と組んでビジネスを進めだすと、まったく口をつぐんでしまう。後で中国でビジネスを始めていたことを知る。「こちらは真剣に相談に乗っていたのに何だ」と怒りたくなることが度々あった。現在の苦しい状況を目の当たりして、友の親身な助言をないがしろにした結果なのかと納得している。

⑧中国ビジネスを注意した友人(1)

私は長谷川さんに「ボーリング業だけにしなさい」と強く注意した。北京にしろ天津にしろボーリングでは必ず黒字になる。人の親切な忠告を聞かずにカラオケ、サウナ、ホテルと手を広げすぎたからこういう厳しい結末になった。またサウナ、カラオケなどの水商売に手を出すと男女の醜い話も聞かれるようになる。普通の会社であれば何も問題はないが、「仏の心」が売り物の仏壇販売会社としては首を傾げたくなる事態をよく耳にした。

—続く— (児玉)

昨年、温泉の湧出に成功。前原市では初めての温泉付きゴルフ場です。
プレーをしながらの怡土富士の眺めは絶景です。

福岡雷山ゴルフ倶楽部株式会社

本社：福岡市中央区大名1丁目15-1 第21ラインビル9F
TEL092-781-3101 FAX092-751-1398
コース：福岡県前原市大字川原807号
TEL092-323-8181 FAX092-323-8081